

武井直子（衛生学）助教

第85回日本衛生学会学術総会 若手優秀演題賞を受賞



平成27年3月26日(木)～28日(土)に和歌山市で開催された第85回日本衛生学会学術総会において、衛生学教室 武井直子助教が若手優秀演題賞を受賞されました。武井助教は、細胞傷害性T細胞へのアスベスト曝露の影響の研究に邁進され、分化増殖時の抑制作用や、曝露症例での検討

なども既に論文報告されていますが、今回は、「武井直子、西村泰光、松崎秀紀、李順姫、吉留敬、林宏明、大槻剛巳

CTL分化誘導時の石綿曝露によるCD8+細胞の細胞傷害性低下に及ぼすIL-2の影響」という演題でのIL-2の影響を詳細に研究された報告で、今後の展開にも期待が高いということでの受賞となりました。

(庶務課)



大槻剛巳（衛生学）教授

日本衛生学会 第17回学会賞受賞



平成27年3月26日(木)～28日(土)に和歌山市で開催された第85回日本衛生学会学術総会において、衛生学教室 大槻剛巳教授が「環境からの健康影響：繊維状粒子状物質の免疫影響と、健康増進環境の構築」という研究テーマで、第17回学会賞を受賞されました。この賞は「永年に亘る真摯

な研鑽によりすぐれた研究業績をあげ、もって衛生学会の学問的発展充実に貢献の著しい本学会会員を顕彰すること

により、我が国の衛生学領域における学問水準の飛躍的向上を図ることを目的とする」もので、長年の大槻教授の研究成果や、日本衛生学会への貢献を踏まえて授けられたものでした。学術総会に際して学会賞受賞講演を行われ、多くの会員による称賛の声がかけられたとのこと。

(庶務課)

